

若狭ネット

第70号 2002年 1月23日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！」

げんぱつ」連絡会(〒915-0235今立郡今立町不老6-36 山崎方 TEL0778-42-3630) 大阪：日高原
発に反対する大阪の会(〒583-0005藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)
ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

敦賀3・4号増設反対！

経産省の第1次ヒアリング強行に抗議する！

関電のプルサーマル計画反対！

原子力推進教育予算創設撤回！

2月8日(金) 美浜事故1年 対関電行動

4時半から 関電本社 (地下鉄四つ橋線「肥後橋」下車)

2月中旬 文部科学省交渉



2月22日(金) 敦賀3・4号増設反対行動

午前8時半 敦賀市市民文化センター

敦賀3・4号炉の増設に反対しよう

経済産業省は、敦賀3・4号炉増設のための第1次公開ヒアリングを、2月22日(金)午前8時半から、福井県敦賀市市民文化センターで強行的に開こうとしています。私たちはこれに抗議します。

これは、1月9日、経済産業省の副大臣が福井県を訪れ、栗田福井県知事らに1次ヒアリング開催への協力を求め、県知事は、その見返りに、近畿自動車敦賀線の推進を強

く求め、「ヒアリングは手続きの一環なので進めてもらってもいい」と返事し、決定されたのです。

県は「白紙」と言いながら原発増設推進への一步をさらにすすめることを承諾したのです。

県自らが、敦賀3・4号炉の安全性を確認し、今回、推進のための「手続き」=儀式に過ぎないヒアリングの開催を承諾したことは、県民署名2万人の反対の声を踏みにじるものです。このような公開ヒアリングを強

行することには反対です。私たちは、県に対して、県主催の公開討論会の開催を要求し、県民が納得のいくまで何度も討論をするよう強く申し入れます。また、増設計画を進める日本原電に対しては、公開質問書を提出し、増設にかかわる問題点を浮かび上げらせ、徹底して闘う覚悟です。

日本原電の鷺見社長は、2002年の年頭所感で、「敦賀3・4号炉では、徹底的に建設コストを削減する」と、表明しています。当初の建設費は、8300億円といわれていましたが、さらに700億円を削減するとしています。「安全性」を切り縮め、電力自由化に対応しようとしています。ますます危険な原発計画となってきました。

地元では、赤字覚悟の仕事請負となるのではないかとの危惧が広がっています。手抜き工事になるおそれがあります。福井県の将来の明るい展望など望むべきもありません。原発の「パイオニア」ということで設立された日本原電も、電力自由化の下で存続の危機が訪れようとしています。10年先には、日本原電自体がなくなるかもしれない、そんな会社が危険きわまりない原発の増設を進めようとしているのです。

2月22日のヒアリング当日には、敦賀増設反対の行動を考えていきます。当日の行動については、若狭ネットの久保までご連絡下さい。

教え子を原子力の犠牲者にするな！

学校教育に原発推進政策を持ち込もうとする「原子力教育支援事業交付金の創設」については、「原子力教育の推進」としていた名称を「原子力・エネルギー教育の推進」と、エネルギーという文言を加えて、何とか問題をすり抜けようとする策を打ち出し

てきました。

これは、私たちとの交渉の結果、ストレートに原発推進教育をあげるとまずいと感じたからに他なりません。文部科学省は、私たちの問題提起に動揺しています。さらに揺さぶりをかけ、交付金の創設を断念させるチャンスであると考えます。

そこで、私たちは、再度文部科学省に再公開質問状（6ページ参照）を提出し、追及を強めていきます。交渉は、2月中旬になるよう準備を進めています。交渉参加の予約は、久保までお願いします。質問書へのご意見や交渉での追及項目のご提案もお願いします。交渉日程が決まり次第、交渉予定者には連絡しますので、連絡先をあわせてお知らせください。

3千人もの人員を削減する関電！！ 原発は大丈夫？

関西電力の美浜原発で蒸気発生器細管破断事故が起こって、はや1年が経ちます。

この事故までは、「原発では事故は起こりません」と言っていましたが、この後、「原発重大事故は起こります」と、原発の危険性を認め始めた大変な出来事でした。

しかし、それでも関電は、あいもかわらず原発推進、プルトニウム利用（プルサーマル計画推進）を打ち出し、邁進しています。日本原電が進める敦賀3・4号炉計画でも、全面的に後押しをしています。

他方では、原発立地や再処理での国の支援を求めているのです。

関電の秋山会長は、年頭所感で、「当社は創設以来、日本初の商業用原子力発電所の建設など・・・やり遂げた歴史をもっており・・・フルに生かし、進化させて、躍進の原動力となってほしい。当社は目下、9電力の

中でも最も苦しい闘いを続けている。現在、
「…劣性は否定できない…」と、表明して
います。

関電も経営悪化をのりきるため、社員の1
割以上にものぼる3000人を削減するリス
トラ策を発表しました。また、設備投資額も1
5%カットするとしています。1基もの原発
を抱え、株価も9電力中5~6位に転落し、
余る電気を「オール電化」や「夜間電気の
利用」などの宣伝を続けながら、電力自由
化の流れに対応できずにもがいている関電
の姿が垣間見えます。

JCO事故が起こった社会的背景とよく似て
きており、ゾッとさせられます。このよう
な状態では、いつなにか原発重大事故が起
こっても不思議ではありません。

美浜事故から11年、 対関電行動に参加を

関電は昨年末、経済産業省 原子力安全
・保安院の判断に基づき、コモックス社に
おけるMOX燃料加工を中止しました。

私たちは、昨年12月27日「コモック
ス社におけるMOX燃料加工の中止」に際
しての緊急申し入れを関電に行いました。

その内容は、今回の事態は、そもそも関
電が1998年1月20日に「自己責任」でBNF
LへのMOX燃料加工を強硬発注したことに
端を発しています。コモックス社のメロク
ス工場でのMOX燃料加工もBNFLデー
タ改ざん問題が露呈している最中に強行した
のです。これらのツケが今回の中止になっ
て現れたのです。この間の責任を少しでも
感じるのであれば、プルサーマル計画その
ものを撤回すべきであるというものです。

美浜事故から11年、毎年おこなっている
対関電行動を2月8日4時半から行います。

1. 関電は、敦賀3・4号炉増設計画から手
を引き、日本原電への出資を中止すること
すべての原発新增設計画を撤回し、脱原発
企業へ脱皮すること。

2. 定期検査期間の短縮、長期連続運転を
やめること。原発重大事故を防ぎ、これ以
上の危険な使用済み核燃料を生み出さない
ため、すべての原発の運転を停止すること。
3. 高浜3・4号炉のプルサーマル計画を白
紙撤回すること。

仏 コモックス社MELOXとのMOX燃料
加工契約を破棄すること。

英BNFLのSMPとMOX燃料加工契約をし
ないこと。

4. イギリスへのMOX燃料返還輸送計画を
中止すること。

5. スイス・ベズナウ原発でのMOX燃料棒
事故に関し、武生市での公開討論会で「事
故がなかった」と、ウソをついたことを自己
批判し、プルサーマル計画中止と共に謝罪
文を福井の全新聞に掲載すること。

6. 使用済み核燃料の再処理を全面的に中止
し、英・仏との再処理契約を破棄すること。
すでに抽出されたプルトニウムはガラス固化
し、電力会社の責任で安全に密閉管理し続
けること。

7. 日本原燃の出資者として六ヶ所再処理工
場の建設中止を勧告し、資金を引き揚げる
こと。

8. 使用済み核燃料中間貯蔵施設の立地活動
をやめること。
などの内容で申し入れをおこなっていきま
しょう。

各個人、団体で、創意工夫して関電に対
して申し入れをおこなっていきましょう。ご
参加をお願いします。

2月8日(金) 4時半から

美浜事故11年 対関電行動

関電本社(地下鉄四つ橋線「肥後橋」下車)



2月中旬 文部科学省交渉

参加予定者は、久保まで連絡をお願いします。

(0729-39-5660)

2月22日(金) 午前8時半～

敦賀3・4号炉増設反対行動

敦賀市市民文化センター

参加予定者は、久保まで連絡をお願いします。

(0729-39-5660)

「原子力教育支援事業交付金反対と、エネルギー政策基本法の廃案」
に賛同、ありがとうございます。また、カンパも続々と寄せられ
現在約18万円になりました。

引き続き、再質問状への賛同の追加をお願いしております。
2月中旬にも、第2回目の文部科学省交渉を予定しています。
参加者の交通費の半額を捻出できますよう
カンパの方もよろしくをお願いします。



若狭ネット大阪 久保

編集後記



- ・ 2002年が始まり、22日が過ぎました。
ゆっくりとはしてられない若狭ネットのスタートとなりました。
敦賀3・4号炉の動き、もんじゅの動き、プルサーマルのゆくえ、
原発教育への対抗、やらねばならない課題はいっぱいです。
みなさんと共に走り回る年となりそうですね。
心はゆったりともって、ぼちぼちとすすむかごです。
今年もよろしくをお願いします。

きよ子